

慶應義塾大学学術情報リポジトリ  
Keio Associated Repository of Academic resources

Title	編集後記
Sub Title	
Author	井田, 良(Ida, Makoto)
Publisher	慶應義塾大学大学院法務研究科
Publication year	2015
Jtitle	慶應法学 (Keio law journal). No.31 (2015. 2)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA1203413X-20150227-0402">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA1203413X-20150227-0402</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 編集後記

私たちの敬愛する安富潔先生は、2014（平成26）年3月末をもって慶應義塾を定年退職された。選択定年制度の適用による、本来よりも早い時期でのご退職であったため、記念論文集の準備を適時にスタートさせることができず、刊行を昨年度末に間に合わせるができなかった。安富先生には申し訳ない限りであるが、時間的余裕を得たおかげで、依頼したほぼすべての方から原稿をいただくことができた。こうして1年遅れで今できあがった本論文集を、長年にわたるご指導に対する深い感謝の気持ちとともに、先生に献呈させていただきたい。

刑事法関係者のうち、慶應義塾在職中の先生と最も長くお付き合いしたのは私であったろう。私が大学院に進学した頃、先生は法学部の助手であったが、話す言葉が明快でよどみなく、いつも颯爽としていてまさに輝いていらっしやう。アタッシュケースを手にとりかへと急ぐ先生の姿を、遠くから強い憧れの気持ちでながめていたこともあった。先生は、すぐれた実務家であり、また博覧強記の文筆家であった故・青柳文雄教授の愛弟子であり、実務に近い立ち位置で理論を展開する方法論を身に付けられ、早い時期からこれを首尾一貫して適用してこられた。当時は、刑事訴訟法学の分野でも、そのような実務的思考は異色であり、後の学説と実務の接近のことを思えば、その方法論は先駆的なものであったと評しえよう。先生は話術が巧みで講義が誰よりお上手であるのは周知のところであるが、行政職や事務的な作業でもきわめて有能である。すぐ下に、役立たずの私のような後輩がいて、さぞかしご迷惑であったに違いない。とある国際シンポジウムの裏方として準備を担当したときにも、私が思わぬ失態を演じてばかりいるので、先生があきれ顔をしていたのを昨日のこのように思い出す。

本論文集の執筆者は、慶應義塾における同僚、後輩、教え子、学外における親しい友人たちである。それぞれに力作をお寄せ下さったことに対し、この場を借りて心からお礼申し上げます。本論文集は全体として理論と実務を架橋しようとする内容のものとなっている。それは、まさに安富潔先生のこれまでの研究関心をそのまま反映するものであろうし、先生の学恩の賜物であるともいえよう。先生には、末長きご健康と研究活動のますますのご発展を心よりお祈りするとともに、これからも三田山上でわれわれ後進を叱咤激励して下さることを切に願う次第である。

（法務研究科教授 井田 良）